日本応用心理学会第68回大会第1日に、理事会および総会が開かれた。常任理事会提出の原案は理事会において原案通り承認された。また、引き続き行われた総会では、理事会承認事項がすべて承認された。

日本応用心理学会2001年度理事会

日 時: 2001年9月8日 (土) 12:00~13:00

場 所:岩手県立大学本部棟3階大会議室

- 1. 開会
- 2. 会長挨拶(細江岩手県立大学教授)
- 3. 議長選出 細江会長を選任。
- 4. 報告事項
 - 1) 事業報告
 - (1) 会員の異動および会費納入状況について (荻野事務局長)
 - 9月1日現在の会員数 正会員1087, 名誉会員34, 学正会員1, 賛助会員4。 過年度未納者数延べ148名。
 - (2) 委員会報告
 - i 機関誌編集委員会(高橋委員長) 「応用心理学研究」28巻1・2号を今年度中 に発行の予定。
 - ii 認定「応用心理士」認定審査委員会 (岡村委員長)2000年度に19名を認定。現在登録者数は 176名である。
 - iii 学会賞・奨励賞選考委員会(越河委員長) 2001年度の学会賞・奨励賞受賞者は,委員 会による第1次選考と常任理事会による第2 次選考の結果,以下の通りとなった。

学会賞:足立浩平氏 奨励賞:北川公路氏

- iv 学会史編集委員会 (村井委員長代理事務局長) 補遺を出版する予定で資料を収集中である。
- v 国際交流委員会(正田委員) 第25回国際応用心理学会について ① 本学会企画のシンポジウムを行う準備 を進めている。テーマは「日本における応用 心理学の研究、実践および解決策の問題:そ

の過去,現状および未来」。②国際応用心理 学会登録希望者数20名,シンガポール大会 出席希望者数15名。

- vi シンポジウム委員会(正田委員長) 2001年1月27日に、「ライフスタイルの変 化と携帯電話」というテーマで公開シンポジ ウムを行った。
- vii 広報委員会(林委員長) ニュースレター1号を9月に発行の予定。 応用心理学会のホームページが整備された。
- viii 研修委員会(荻野委員) 研修の必要性についてアンケート調査を 行った。研修を必要とするという回答が回答 者の半数以上であった。研修内容,領域を検 討し,次大会において実験的に研修会を行う 方向で検討している。
- 2) 2000年度 (第67回) 大会報告 (坂野登前大会委員長に代わり事務局長) 大会決算報告の説明が行われた。
- 3) 日本心理学諸学会連合について(事務局長) 昨年度の大会以降の連合の審議の内容と応用 心理学会の対応が報告された。
- 5. 審議事項
 - 2000年度決算について 決算書通り承認された。
 - 2) 2001年度予算について 原案通り承認された。
 - 3) 名誉会員推薦について 常任理事会提案の、次の6氏を総会に推薦す ることが承認された。(五十音順)

岸田 博氏 (龍谷大学教授) 駒崎 勉氏 (元城西大学教授) 高橋たまき氏 (帝京平成大学名誉教授) 平野 馨氏 (常磐短期大学教授) 福原真知子氏 (佛教大学教授) 丸山 欣哉氏 (宮城学院女子大学教授)

- 4) 2003年度(第70回)大会開催校について 流通科学大学に決定。 大会委員長 サービス産業学部森下高治教授。
- 6. 閉会

日本応用心理学会2001年度総会

日 時: 2001年9月8日(土) 13:00~14:00

場 所:岩手県立大学講堂

- 1. 開会
- 2. 会長挨拶(細江岩手県立大学教授)
- 3. 議長選出 細江会長を選任。
- 4. 報告事項
- 1) 事業報告
 - (1) 会員の異動および会費納入状況について (荻野事務局長)
 - (2) 委員会報告
 - i 機関誌編集委員会(高橋委員長)
 - ii 認定「応用心理士」認定審査委員会 (岡村委員長)
 - iii 学会賞・奨励賞選考委員会(越河委員長)
 - iv 学会史編集委員会 (村井委員長代理事務局長)
 - v 国際交流委員会(正田委員)
 - vi シンポジウム委員会(正田委員長)
 - vii 広報委員会(林委員長)
 - viii 研修委員会(荻野委員)
- 2) 2000年度 (第67回) 大会報告 (坂野登前大会委員長に代わり事務局長) 大会決算報告の説明が行われた。
- 3) 日本心理学諸学会連合について(事務局長)
- 5. 審議事項
 - 1) 2000年度決算について 決算書通り承認された。
 - 2) 2001年度予算について 原案通り承認された。
 - 3) 名誉会員推薦について 岸田 博, 駒崎 勉, 高橋たまき, 平野 馨, 福原真知子, 丸山欣哉の6氏を名誉会員として 承認。
 - 4) 2003年度(第70回)大会開催校について 流通科学大学に決定。

大会委員長 サービス産業学部森下高治教授。

6. 学会賞·奨励賞授与

細江会長より,足立浩平氏に学会賞,北川公 路氏に奨励賞が授与された。

- 7. 2002年度(第69回)大会開催校挨拶(富士短期大学 岡村一成教授)
- 8. 2003年度(第70回)大会開催校挨拶

(流通科学大学 森下高治教授)

9. 閉会

第67回大会決算報告 別掲 2000年度決算書 別掲 2001年度予算書 別掲

日本応用心理学会2000年度決算

収	入		支	出	
項目	実 行 額	予 算 額	項目	実 行 額	予 算 額
会費	5,481,000	5,520,000	第67回大会補助費	700,000	700,000
過年度分 46×6000	276,000	180,000	学会賞・奨励賞	90,000	60,000
本年度分	5,205,000	5,340,000	心理学諸学会連合	30,000	30,000
$867 \times 6000 + 1 \times 3000$			シンポジウム・講演費	139,660	400,000
賛助会費	60,000	60,000	「応用心理士」関係経費	181,240	500,000
「応用心理士」関係	670,000	1,020,000	委員会活動費	<u>378,515</u>	1,100,000
審査料(16名)	160,000	270,000	学会史編集委員会	0	50,000
認定料(17名)	510,000	750,000	機関誌編集委員会	175,185	300,000
			学会賞・奨励賞選考委員会	8,000	50,000
寄付金	300,000	0	シンポジウム委員会	76,000	100,000
(神戸親和女子大学より)			国際交流委員会	6,000	200,000
18.4			広報委員会	32,850	200,000
雑収入	190,349	330,000	研修委員会	80,480	200,000
			印刷費	1,709,836	3,200,000
			機関誌	1,392,300	2,800,000
			広報関係	160,650	200,000
			その他	156,886	200,000
			通信費	588,680	600,000
			機関誌郵送費	130,815	250,000
			広報関係郵送費	170,560	200,000
			その他	287,305	150,000
			交通費	606,660	900,000
			アルバイト費	1,168,090	1,300,000
			事務局費	561,044	700,000
			予備費	0	544,291
	0.501.010	0.000.000	. 31	0.150.705	10.004.001
小計	6,701,349	6,930,000	小計	6,153,725	10,034,291
前年度繰越金総額	4,804,291	4,804,291	次年度繰越金総額	5,351,915	1,700,000
名簿作成積立金	600,000	600,000	名簿作成積立金	1,000,000	1,000,000
特別企画積立金	300,000	300,000	特別企画積立金	700,000	700,000
前年度繰越金	3,904,291	3,904,291	次年度繰越金	3,651,915	0
合 計	11,505,640	11,734,291	合 計	11,505,640	11,734,291

以上の通り相違ありません。

2001年7月12日

 監査委員
 山
 本
 寛
 ⑩

 監査委員
 藤
 森
 立
 男
 ⑩

日本応用心理学会2001年度予算

収	入		支	出	
項目	予 算 額	99年度決算額	項目	予 算 額	前年度決算額
会費	5,460,000	5,481,000	第68回大会補助費	700,000	700,000
過年度分 (40名)	240,000	276,000	学会賞・奨励賞	60,000	90,000
本年度分(870名)	5,220,000	5,205,000	心理学諸学会連合	45,000	30,000
			シンポジウム・講演費	400,000	139,660
賛助会費	60,000	60,000	「応用心理士」関係経費	970,000	181,240
「応用心理士」関係	970,000	670,000	委員会活動費	900,000	378,515
審査料 (25名)	250,000	160,000	学会史編集委員会	50,000	0
認定料 (24名)	720,000	510,000	機関誌編集委員会	250,000	175,185
			学会賞·奨励賞選考委員会	50,000	8,000
寄付金	0	300,000	シンポジウム委員会	100,000	76,000
			国際交流委員会	200,000	6,000
雑収入	200,000	190,349	広報委員会	100,000	32,850
			研修委員会	150,000	80,480
名簿作成積立金取り崩し	1,000,000	0			
			印刷費	3,400,000	1,709,836
			機関誌	2,000,000	1,392,300
			広報関係	200,000	160,650
			その他 (名簿印刷費を含む)	1,200,000	156,886
			(A) (一) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	000 000	500,000
			通信費 機関誌郵送費	860,000	588,680
				240,000	130,815
			公 報 対	200,000	170,560
			ての他(石澤印刷貨を占む)	420,000	287,305
			常任理事交通費	800,000	606,660
			アルバイト費	1,400,000	1,168,090
			事務局費	700,000	561,044
			予備費	306,915	0
小計	7,690,000	6,701,349	小 計	10,541,915	6,153,725
前年度繰越金総額	<u>4,351,915</u>	4,804,291	次年度繰越金総額	<u>1,500,000</u>	<u>5,351,915</u>
名簿作成積立金	0	600,000	名簿作成積立金	300,000	1,000,000
特別企画積立金	700,000	300,000	特別企画積立金	1,200,000	700,000
前年度繰越金	3,651,915	3,904,291	次年度繰越金	0	3,651,915
合 計	12,041,915	11,505,640	合 計	12,041,915	11,505,640

日本応用心理学会第67回大会決算報告書

2001. 6. 2 於:神戸親和女子大学

収入				支出		
摘要			金 額	摘要	金 額	
大会参加]費		1,397,000	印刷費	745,146	
(内訳)	正会員予約分	5,000×165	825,000	通信費	377,280	
	正会員当日分	5,500× 42	231,000	アルバイト代	1,204,260	
	院生会員(予約分)	2,000× 24	48,000	懇親会費	467,600	
	学生会員(予約分)	1,000× 2	2,000	弁当代	133,467	
	院生会員(当日分)	2,000× 2	4,000	休憩室茶菓代	18,027	
	臨時会員	5,000× 43	215,000	レンタル代	223,881	
	臨時会員(院生·学生)	2,000× 36	72,000	文具代	48,090	
論文集代	論文集代金		1,193,000	看板代	31,500	
(内訳)	予約分	$5,000 \times 210$	1,050,000	大会運営費(宿泊代等)	197,512	
	当日分	5,500× 26	143,000	大会マークデザイン料	200,000	
写真掲載	戈料		2,000	日本応用心理学会への寄付金	300,000	
懇親会代			412,000	神戸親和女子大学への寄付金	350,000	
(内訳)	正会員(予約分)	5,000× 49	245,000	シンポジスト謝礼代	220,000	
	院生·学生会員(予約分)	2,500× 9	22,500	その他	17,237	
	正会員(当日分)	5,500× 23	126,500			
	院生·学生会員(当日分)	$3,000 \times 6$	18,000			
日本応用心理学会よりの補助		700,000				
神戸親和女子大学よりの補助		350,000				
広告料			480,000			
	合 計		4,534,000	合 計	4,534,000	

以上の通り、ご報告いたします。

2001年6月2日

日本応用心理学会第67回大会準備委員長 坂 野 登 🗊

日本応用心理学会常任理事会議事録

2001年度 第1回 常任理事会

日 時: 2001年4月28日 (土) 14:00~15:50

場 所:東京国際大学 国際交流研究所

出席者: 細江・岡村・稲毛・浮谷・荻野・小野・垣本・神作・越河・大坊・長塚・馬場・林・平野・福原・藤田・正田・松浦・村井事務局(神田、岩田、藤瀬)

報告事項

1. 2001年度(第68回)大会について (細江理事長)

資料に基づき大会日程概要の説明が行われた。

- 2. 委員会報告
 - 1) 機関誌編集委員会(荻野事務局長) 第27巻1号の訂正部分を2号に掲載する。
 - 国際交流委員会(長塚委員長)
 IAAP25回(シンガポール)大会について
 - ① 日本応用心理学会一般会員からの参加希望 は19名。村井理事に一括して手続きをお願 いする予定である。
 - ② 日本応用心理学会の企画で行うシンポジウムは「日本における応用心理学の研究,実践および問題解決(策)の諸問題-その過去,現在および将来について-」としたい。
 - ·企画:長塚康弘(新潟中央短期大学)
 - ・話題提供者:日本応用心理学会会員を中心 に4~5名を予定。
 - ・指定討論者:2名を予定。
 - 3) 認定「応用心理士」審査委員会(岡村委員長) 2001年3月31日現在の認定「応用心理士」 登録者169名の名簿が配布された。
 - 4) 広報委員会(浮谷委員) ホームページについて説明があった。
- 3. スクールカウンセラーの採用条件および臨床心理士大学院指定校制度に関する件(細江理事長) 文部科学省への要望書提出についてのその後の経過報告。前回の常任理事会で、日本発達心理学会柏木会長から依頼のあった文部科学省への要望書提出に当学会として賛同した。その後、柏木・藤永両氏が文部科学省と数回会談の機会を持ち、

文部科学省側から一定の理解を得たようである。 今後、柏木氏は日心連全体で取り組むことを次回 (5月19日)の日心連理事会に提案したいとの意 向であるが当学会としてどう対応すべきか。(こ の点については審議事項とすることとなった。)

- 4. その他(事務局長)
- 1) 学会賞・奨励賞の選考の時期となったので例 年通りの手続きで行う。
- 2) 予算・決算については次回理事会で審議する。

審議事項

1. 2003年度大会開催校について

岡村副理事長から神戸の流通科学大学の推薦があったが、今回が初めての審議であり、他の可能性がないか、次回までの継続審議とすることになった。

- 2. 新入会員審查
 - 正会員として24名の入会を承認した。
- 3. スクールカウンセラーの採用条件および臨床心 理士大学院指定校制度に関する件

先の報告を受け、柏木、藤永提案に本学会とし てどう対応するかを審議。

連合の議題として取り上げることには賛成するが、その内容についての賛否については保留し、明確な資料の提示を求めることを確認した。

さらに、臨床心理士大学院指定校制度による問題点について話し合いがなされ、教員人事や学生指導に支障があること、この問題については特定領域の学会にとらわれず不偏不党で取り組むべきであるとの意見が出された。

2001年度第2回常任理事会

日 時:2001年6月8日(金)18:00~20:00

場 所:富士短期大学高田記念館3階第3会議室

出席者:細江・稲毛・浮谷・内海・大久保・大塚・

岡村・荻野・小野・垣本・神作・越河・

大坊・田中・長塚・林・馬場・福原・

藤田・松浦・正田事務局(岩田・藤瀬)

報告事項

 2000年度(第67回)大会会計報告 (荻野事務局長)

神戸親和女子大学(坂野前大会委員長)からの

資料に基づき決算報告が行われた。

 2. 2001年度(第68回)大会について (細江大会準備委員長)

参加予定者数、発表予定者数等について報告。

3. 日本心理学諸学会連合第5回理事会報告(事務局長)

資料に基づき主に以下の点について報告があった。① 基礎資格ワーキンググループ報告の中で、基礎資格を設ける点に関して日本心理学会の認定心理士との関係をどのように扱うかという点が問題となった。② 連合理事と日本臨床心理士資格認定協会との話し合いがもたれたが、具体的な進展はなかったという報告があった。③ 柏木理事から提案のあったスクールカウンセラーの採用条件及び日本臨床心理士資格認定協会の大学院指定校制について文部科学省への申し入れを行う件については、否決された。④ 会費をこれまでの1.5倍とする会則改訂が承認された。

- 4. その他(事務局長)
 - 1) 音響学会大会への協賛を例年通り行うこととした。
 - 2) 学術著作権協会から28,294円の複写使用料分配金があった。

審議事項

1. 2003 年度大会開催校について 流通科学大学(森下教授)での開催が承認された。

2. 名誉会員推薦について

審議の結果,高橋たまき,丸山欣哉,駒崎勉, 平野馨,福原真知子,秋山俊夫及び岸田博の7氏 の名誉会員推薦を承認した。

なお、終身会員制度について検討したらどうか との提案がなされ次回審議することとなった。

3. 学会賞·奨励賞第二次選考

越河委員長より、選考委員会でさらに検討した いとの報告が行われ、第二次選考は次回の常任理 事会で行うこととなった。

4. 2000年度決算について

事務局長より決算書(案)の説明が行われ、収入の項目「前年度純繰り越金」を「前年度繰越金」に、支出の「次年度純繰越金」を「次年度繰越金」に修正することを条件として2000年度決算案が承認された。

5. 2001年度予算について

事務局長より予算書(案)の説明が行われ、支 出の項目で「名簿作成」に関わる費用がわかりに くいという指摘があり、「印刷費」及び「通信費」 の中の「その他」に括弧つきで明示することとな り、上記を訂正の上、次回再審議となった。

6. 国際交流委員会提案について

長塚委員長より、当初予定していた教授の都合が悪くなったため、新たに人選を進めることが提案され承認された。なお、本学会企画のシンポジウムにシンポジストとして参加する会員への経済的援助を委員会で検討することが了承された。

7. 新入会員審査について

正会員33名,学生会員1名の入会が承認された。 なお,この他,8名の入会について学会発表の関係で暫定的に入会を承認した。

2001年度 第3回 常任理事会

日 時:2001年7月21日(土)14:00~16:00

場 所:東京国際大学 国際交流委員会

出席者:細江・岡村・稲毛・荻野・小野・垣本・

神作・越河・坂野・高橋・馬場・林・平野・

福原・藤田・正田・松浦

事務局(神田・岩田・藤瀬)

報告事項

 2001年度(第68回)大会について(細江大会 準備委員長)

① プログラムを7月中に発送の予定。② 口頭発表件数128件、シンポジウム4件を予定している。③ 公開シンポジウムは「大規模自然災害が起こったとき 一災害心理学はどう関わる一」をテーマに行う予定である。

2 委員会報告

1) 機関誌編集委員会(高橋委員長)

27巻2号(原著2編,資料1編)は8月下旬に印刷所へ,11月に発行予定。現在,8編の論文の投稿があり,うち1編は不採択,7編は審査中である。28巻1,2号を合併号にすることについて編集委員会で検討を行う予定である。

岡村理事から27巻2号に認定応用心理士名簿 の掲載を求める意見が出された。

 認定「応用心理士」資格審査委員会 (岡村委員長) 平成13年度前期は2名の申請者があり1名を 合格とした。

3) 国際交流委員会

国際応用心理学会のシンポジウムのディスカッサントを1名推薦して欲しいとの要望が出されたが、国際交流委員会に一任することとなった。

審議事項

1. 学会賞・奨励賞第二次選考

越河委員長より、学会賞・奨励賞選考委員会の 一次選考の結果が報告され、学会賞は甲子園大学 の足立公平氏、奨励賞は駒沢大学の北川公路氏に 決定した。

2. 2001年度予算修正案について

前回、不明確であった名簿のための予算の支出を「印刷費」及び「通信費」の「その他」に括弧書きで明示した修正予算案が承認された。

- 3. 終身会員制度について 終身会員を設ける目的等に疑義が出され今回は 見送ることとなった
- 4. 新入会員審査 正会員12名の入会を承認した
- 5. 2002年度(第69回)大会日程について 岡村次期大会準備委員長より,2002年度大会 日程を9月7,8日の両日とすることが提案され承 認された。

2001年度 第4回 常任理事会

日 時:2001年10月27日(土)14:00~15:30

場 所:富士短期大学本館1階会議室

出席者: 岡村・稲毛・浮谷・大久保・荻野・小野・ 垣本・神作・高橋・平野・福原・正田・ 松浦・八木

事務局(神田・岩田・藤瀬)

報告事項

- 1. 2002年度(第69回)大会について(岡村理事長) 準備委員会を設立した。 論文集を大会前に作 成すること、2頁見開きとすることを考えている。 これについては支持する意見が述べられた。
- 2. 委員会報告
 - 1) 機関誌編集委員会(高橋委員長)

- ① 27巻2号が完成し発送した。
- ② 28巻1号については、5編の投稿があるが まだ採択にいたっていない。28号1,2号合併 号にする可能性がある。
- ③ 村井委員の後任を選びたい。
- 2) 国際交流委員会(福原委員)
 - ① 2002年度国際応用心理学会について テロ 問題で開催について懸念されたが、予定通り 行われることとなった。これに伴い2002年1 月末まで参加申し込み締め切りを延期することになった。日本からの参加者は20人である。
- 3) 広報委員会(浮谷委員)
 - ① ニュースレター4号を送付した。
 - ② ホームページに、会員に研究助成など有利 な情報を掲載している。
- 4) 「認定応用心理士」認定委員会 (岡村委員長) 現在5名の申請がある。
- 3. その他(事務局長)
 - 1) 村井先生のご逝去について
 - 2) 名簿作成について 修正部分の有無の問い合わせを行っている。新しい名簿から応用心理士について掲載する。名簿に個人情報の掲載を辞退すると連絡してきた会員に対してどのように対応すべきか。会員名簿作成の趣旨を説明し可能な限り掲載に協力してもらうこととなった。

審議事項

1. 村井常任理事の後任について

国際交流委員会,機関誌編集委員会は各委員会 でメンバーの補充について検討する。学会史編集 委員会については会長,事務局長が次回提案する こととなった。

2. 公開シンポジウムについて

小野委員の提案に基づき,以下の通り公開シンポジウムを開催することが承認された。

- · 日時: 2002年2月2日 (土) 14:00~16:30
- ·場所:駒沢大学1号館2階
- ・テーマ「ロールプレイングの理論と実際」
- ・ 企画及び司会: 小野浩一
- ・話題提供者:小山望 (東京理科大学)「教育に おけるロールプレイングと心理劇」。井上雅彦 (兵庫教育大学)「ロールプレイングを用いた自 閉症児のソーシャルスキルトレーニング」。山

ロー美 (立教大学)「職場におけるマナー研修 とロールプレイング」

·指定討論者:台利夫(筑波大学名誉教授)。久 保田新(藤田保健衛生大学)

3. 新入会員審查

2名の入会申請があったが、資格に関する事項が明確でないためいずれも保留となり、詳細情報を得た上で次回再審査することとなった。

4. その他

- 1) 2001年度大会での問題点について
 - ① 口頭発表の取り消しへの対応で、繰り上げ 発表が行われたセッションがあったが、繰上 げは行わない方針が確認された。
 - ② 入会手続きをしないまま発表に臨んだケースがあった。以後こうしたことがないようにすることを確認した。
- 2) 村井常任理事の後任について 次点者を定めていないので常任理事の補充は 行わない。これについて、今後選挙規定を明確 に定めた方がよいとの意見が出された。

2001年度 第5回 常任理事会

日 時: 2001年12月14日(金) 18:30~20:30

場 所:富士短期大学本館

出席者: 岡村・稲毛・浮谷・内海・大久保・大塚・ 荻野・垣本・越河・大坊・高橋・馬場・ 福原・藤田・正田・松浦 事務局(岩田,藤瀬)

報告事項

1. 2001年度(第68回)大会について (細江前大会委員長) 大会論文集は12月中に発行の予定。

 2. 2002年度(第69回)大会について (岡村大会委員長)

2号通信を4月に出す予定である。論文集は大 会前に出す予定で計画を進めている。

- 3. 委員会報告
 - 1) 機関誌編集委員会(高橋委員長)
 - ① 28巻は1.2号合併号としたい。
 - ② 29巻については、総説論文を越河先生、 坂野先生にお願いした。村井先生の追悼文を 掲載予定である。各委員会の過去1年間の報

告を掲載する予定である。

2) 研修委員会(大塚委員長)

69回大会で第1日目の午後をつかって研修会を開催する。応用心理学に関する基礎的な内容と、学会賞の受賞者に学会賞にまつわるテーマで話を依頼することを考えている。

- 3) 国際交流委員会(正田委員) 12月22日(土)にシンポジウム関係者で準 備のための会合を予定している。
- 4) 広報委員会 (浮谷委員)

事務局からの依頼で、名誉会員ご逝去の場合、機関紙に記事を載せるべきかを検討し、1頁程度のスペースで追悼記事を載せることが適当であろうという結論となった。常任理事についても同様の扱いが適当である。

この件については、事務局からはニュースレターへの掲載について検討を依頼したもので趣旨が異なってしまったが、広報委員会の見解を踏まえて機関誌編集委員会でさらに検討することとなった。なお、ニュースレターでの扱いについては従来どおりとすることを確認した。

- 5) 認定「応用心理士」審査委員会(岡村委員長) 2001年度後期申請について11月いっぱいで 締め切り、10名の申請があった。
- 4. その他(荻野事務局長)
 - 1) 日本学術会議から Japan perspective の公開講 演会の案内が来ている。
 - 2) 日本学術協力団体から「ノーベル賞100周年 記念国際フォーラム」の案内,講演依頼と寄付 依頼が来ている。講演については承諾,寄付に ついては1口1万円を寄付したい。上記につい て了承された。

審議事項

- 1. 村井常任理事の後任について(荻野事務局長)
- 1) 学会史編集委員会委員長の後任について 学会史補遺の作成については学会史編纂にあ たった鈴木祐子氏に依頼したいが、会員ではな いので入会依頼を行う。村井先生の後任は当分 おかない。以上のことが承認された。
- 2) 機関誌編集員会委員の後任について 後任として垣本理事を承認した。
- 2. 倫理綱領の作成について

事務局長より、応用心理学会の倫理綱領を作成するために委員会を作り69回大会までに倫理綱領案を作成したいという提案がなされ、委員会を設置する事が承認された。委員会メンバーについては次回常任理事会において事務局長が推薦することとなった。

3. 会長について (会則改定)

岡村理事長より、現在、理事長(会長)の任期は1年となっているが連合等、外部団体との関係や、事務局長の負担を考えると、会長をこれまで通り任期1年次期大会の委員長とし、理事長は常任理事会から選出し常任理事の任期に合わせて3年とする案が出された。これに対して、会長を廃止し理事長を学会の代表者とし、大会の責任者については、大会準備委員長(大会時には大会委員長)とする方向で改正案を作成するという意見がだされ、継続審議となった。

4. シンポジスト (公開シンポジウム) の交通費に ついて

事務局長より、公開シンポジウムのシンポジストの交通費は、従来空路及び新幹線利用者のその部分のみを対象としてきたが、シンポジストの主要最寄り駅から東京駅までの実費を、会員、非会員の区別無く支給するという提案がなされ、承認された。

5. 事務局移転について

事務局長より、白梅学園短期大学の後の学会事局について常任理事から立候補をお願いしたいが、立候補がなければ理事レベルまで拡げて後任機関を探していくことが提案され、その方向で検討を進めることとなった。

6. 会員名簿について

事務局長より、会員名簿のサイズをA5版から B5版とすることが提案され、承認された。表記 形式については事務局に一任することとなった。

7. 新入会員審査

正会員として3名(再審査1名を含む)の入会 を承認した。

2001年度 第6回 常任理事会

日 時: 2002年2月2日 (土) 15:00~19:00

場 所:駒沢大学1号館5階会議室

出席者:岡村・森下・稲毛・浮谷・荻野・小野・

垣本・神作・越河・坂野・高橋・田中・ 長塚・林・平野・藤田・細江・正田・松浦 事務局(岩田,藤瀬)

報告事項

- 2001年度(第68回)大会について (細江第68回大会委員長)
 第68回大会決算報告が行われた。
- 2. 2002年度(第69回)大会について(岡村理事長) 2号通信を4月中旬に発送する予定である。発 表申し込み締め切りを5月いっぱいとする。論文 集は大会前に発行する。原稿締め切り7月15日、 9月早々に発送する予定である。論文集サイズは B5版見開き2頁とする。なお、大会ごとに論文 集のサイズが異なるよりも統一したらどうかと考 えているので、検討をお願いしたい。

3. 委員会報告

- 1) 機関誌編集委員会(高橋委員長)
 - ① 投稿論文について 現在手持ちの論文は6 のうち2編は修正採択,1編は査読中,3編に ついては査読者を決定する運びである。
 - ② 総説論文について 29巻に掲載予定であった総説論文は、28巻に掲載可能となった。
- 2) 国際交流委員会(長塚委員長)
 - ① 国際応用心理学会シンガポール大会でのシンポジウムの準備状況について 2001年12 月下旬にシンポジウム関係者で会合を持ち、 企画打ち合わせを行い、これをうけて1月末 に大会への手続きを済ませた。
 - ② 国際応用心理学会参加海外の研究者の招待 講演について Spielberger氏にお願いしよ うと考えていたが、スケジュールが合わず、 他の研究者の推薦を受けた。これも含めて人 選を進める予定である。
- 3) シンポジウム委員会(正田委員長) 2002年度公開シンポジウムは,本日"ロールプレイの理論と実際"をタイトルに活発な議論が展開された。120名の出席があった。来年度の企画は藤田委員が担当することとなった。
- 4) 認定「応用心理士」審査委員会(岡村委員長)
 - ① 新たに9名を認定した。169名となる。
 - ② 新しい手引きの発行の延期について 今年 度中に発行する予定であったが、研修委員会

の研修をどう取り扱うかを明確にした上で次 年度に発行することとしたい。

- 5) 広報委員会(浮谷委員) ホームページについて説明があった。
- 6) 研修委員会(荻野委員)

2002年度大会時に行われる研修会について以下のことが報告された。太田垣、蓮花両先生に研修会の講師をお引き受けいただいた。講師料は30,000円程度。受講費は大会参加者は500円、非会員(研修のみ参加)は1,000円とし大会運営費に繰り入れる。受講証を発行する。

常任理事会として上記の件を了承した。

4. 日本心理学諸学会連合理事会報告(荻野事務局長) 主な議題としての「基礎資格ワーキンググル ープ」の報告と提案について説明がなされた。

審議事項

1. 会則改定について

岡村理事長、林理事、荻野事務局長の改定案の 検討がなされた。改定案の骨子は以下の通りである

- ① 理事長の任期は3年とする。
- ② 理事長は常任理事会の互選とする。
- ③ 副理事長は大会当番機関の代表者(大会準備 委員長)が当たる。任期は在任中とする。
- ④ 役員の就任は新年度4月1日とする。 改定案の説明が行われ、継続審議となった。
- 2. 倫理綱領作成のための委員会について 委員として田中、福原、藤田理事が推薦され承 認された。委員長には田中理事が承認された。
- 3. 心理臨床学会の呼びかけ(医療心理士に関する 要望書の件)について

心理学諸学会連合を通して行われることが望ましい等の意見があり、態度を保留することを決議した。

4. 退会措置者について

事務局より、住所不明および長期会費未納者の リストが提出され、3月末までに事態の改善が無 い場合には、その時点において退会の措置をとる ことが了承された。

5. 新入会員審査について 5名の入会資格が認められた。

会員移動

2001年度新入会員(2001.4月~2002.3月)

(氏名, ① 現住所, ② 所属)

一般会員

荒木 穂積

②立命館大学産業社会学部 五十嵐靖博

②山野美容専門学校 櫻本 真弓

②文京女子大学大学院人間学研究科学生 若松 優子

②文京女子大学大学院人間学研究科学生 加藤英池子

②文京女子大学大学院人間学研究科学生 渡邉 裕美

②文京女子大学大学院人間学研究科学生 呉 平東

②中国北京理工大学機電一体化中心 渡辺 成夫

②福島工業高校・尚絅女学院短大・宮城学院女子大 勝浦 照美

②公立学校共済組合近畿中央病院 宮崎ユキ子

②龍谷大学大学院文学研究科教育学教育心理学領域修士学生

吉田由香利

②文京女子大学大学院人間学研究科修士学生 中川 知宏

②東北大学大学院文学研究科学生

安永 俊一

②(株) 化学工業日報社出版局第一編集グループ企画室

白井 浩司

②社会福祉法人コロロ学舎知的障害者入所更正施 設瑞学園

渥美 恵美

②東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科

石井 隆之

②(株)日本精神技術研究所 高田 智子

②龍谷大学大学院文学研究科教育学専攻教育心理 学領域修士課程

加藤日出子

②龍谷大学教育学専攻大学院修士課程文学研究科 中村由希子

②岩手大学人文社会科学研究科大学院 成田 昭俊

②株式会社シーアンドエイシステムズ 中島 寛之

②学校法人西野学園札幌心療福祉専門学校 菅野 裕

②神奈川県警察交通部交通総務課運転適性検査担当 古川ひとみ

②龍谷大学文学研究科教育学専攻修士課程 藤森 進 ②文教大学人間科学部 山本 孝子

②仏教大学教育学研究科博士課程生涯教育専攻 片岡 健二

②千葉市桜木園 中里 茂

②盛岡家庭裁判所宮古支部 マルコンオットー

②龍谷大学大学院文学研究科修士課程教育学専攻 (教育心理学領域)

藤本 次郎

②流通科学大学サービス産業学部 河野 望

②立命館大学大学院応用人間科学研究科修士課程 銅直 優子

②流通科学大学サービス産業学部 八島真友子

②東北学院大学大学院人間情報学研究科 谷本 博司

②流通科学大学 福野 光輝

②東北大学大学院文学研究科 菅原 正和

②岩手大学教育学部心理学科 蜂屋 真 ②流通科学大学サービス産業学部 藤元 直服

②岩手大学教育学研究科(心理学) 嶋村 伸子

②人間発達研究所

岩崎 久志

②流通科学大学

鈴木 大輔

②東北大学大学院情報科学研究科認知心理情報学 博士課程

立田幸代子

②立命館大学大学院社会学研究科応用社会学専攻 博士後期課程

小森 愛子

②文京女子大学大学院人間学研究科心理学専攻修 士課程

野村 匡子

②日本大学大学院博士前期課程 大木 桃代

②文教大学人間科学部人間科学科 桐田 降博

②岩手県立大学社会福祉学部 田山 淳

②東北大学大学院医学系研究科人間行動学分野博 士課程後期 芦洋志帆子

②岩手障害者職業センター 竹内 妙子

②東京都立荏原看護専門学校

粕谷 貴志

②専修大学北上福祉教育専門学校保育科 昆 保典

②専修大学北上福祉教育専門学校保育科 須田 誠

②慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程 薛 常慧

②岩手大学大学院連合農学研究科 大沢 武志

②流通科学大学商学部 大井 陽子

②龍谷大学文学研究科教育学専攻教育心理学領域 藤岡 延樹

②浄土真宗本願寺派楷定寺 佐藤 伸之

②岩手大学大学院教育学研究科学校教育専攻 山口 浩

②岩手大学人文社会科学部人間科学 斉藤早香枝

②北海道大学医療技術短期大学部看護学科 青木みのり

②東京都立大学人文学部教育学研究室 藤田 政義

②千葉県市川児童相談所 三村 覚

②日本体育大学 楠本 恭久

②日本体育大学

鈴木 幸一

②岩手大学農学部 宮澤 志保

②岩手大学大学院人文社会科学研究科 嶋野 重行

②岩手大学教育学部附属養護学校 大浪 瑠夏

②岩手大学教育学部心理学科研究生 金尾 佳子

②日本大学大学院博士前期課程 石原美栄子

②日本大学大学院心理学専攻博士課程前期2年在学中 岩崎 祥一

②東北大学大学院情報科学研究科認知心理情報学 松田 均

②岩手リハビリテ-ション学院作業療法学科 安藤寿枝子

②日本大学大学院心理学専攻博士課程前期 伊藤 克博

②西東京中央総合病院 渡邊 正人

②社会福祉法人名寄市社会福祉協議会 太田さつき

②青山学院大学文学部 大内 降

②熊本大学医療技術短期大学部看護学科 中山 善行 ②京都学童保育連絡協議会 中島 康明

②中小企業総合事業団中小企業大学校関西校 菊地加奈子

②あしなが育英会レインボーハウス虹の家課

学生会員

野村 昌史

②皇学館大学社会福祉学部社会福祉学科

2001年度退会者名簿一覧 (76名 2001.4~2002.3) 自主退会 (31名)

須川 幸治,富岡 栄蔵,越智 啓太,松谷さおり,中村 孝太郎,渡辺 勉,三村 保子,折原 茂樹,渡辺 成夫,香取 伸司,矢代 顕子,藤原元一,山下 春江,星山 佳治,佐藤 隆,鈴木昭弘,市川 典義,光定 えり,荒巻 定仁,古舘敦子,林 邦雄,後藤 啓一,浜田 和子,稲松信雄,藤土 圭三,小倉 育代,松田美登子,石原美栄子,福川 康之,森 崇王,ジティンダルラカナ

逝 去 (6名)

謹んでご冥福をお祈りいたします。

坂田 — 2000年10月 塚田 毅 2001年8月 辻岡 美延 2001年9月 南 博 2001年9月 村井 健祐 2001年10月 松本 洋 2001年12月

住所不明(14名)

種市康太郎, 田虚 浩壱, 柏 樹群, 萩原 朋子, 石川 智久, 国方 健一, 古賀 奈美, 北條由美乃, 大島 美和, 鈴木 文雄, 吉村 俊哉, 高橋 真理, 安彦 貴弘, 蓮輪 朋美

長期会費未納(24名)

石川 直子,石川 正人,井田 裕司,市川 康夫, 上田智津穂,鵜殿 俊史,卜部 敬康,大橋喜美子, 荻沢 健志,笠井 正則,河村はるひ,久保 純子, 杉本千代子,寺本 研,中川 敏貴,長見まき子, 中村 順子,中山 英雄,西川 牧江,箱田 裕司, 原田 千鶴,松田 君彦,光安 文夫,村本 淳子

寄贈文献 (2001.4~2002.3)

- ・SCIENTIA (財・日本学会事務センター) No.4~ No.14
- ・別冊 医学のあゆみ 学会案内 (医歯薬出版株式会 社) 2001.7月版 2002.1月版
- · Nll Jouranal (国立情報学研究所) 2001. No.3
- ・全心協ニュース(全国保健・医療・福祉心理能協会) 2001. 5, No.38 2001. 9, No.39
- ·日本語教育通信(国際交流基金)第40号 第41号 第42号
- ・Nll News (国際情報学研究所ニュース) No.4~No.8
- ・学会センターニュース (学会誌刊行・日本学会事 務・学会出版) No.317~No.328
- ・健康心理学研究(日本健康心理学会)Vol.14 No.1, No.2
- ・指導と評価(日本教育評価研究会)2001.4~2002.3
- ・学術の動向(日本学術協力財団)2001.4~2002.3
- ・放送研究と調査 (NHK放送文化研究所) 2001. 4 ~ 2002. 3
- ·山梨大学教育人間科学部紀要(山梨大学教育学部) 2001 第2卷2号 第3卷1号
- · 交通科学 (大阪交通科学研究会) 2002. Vol.32 No.1, No.2 合併号
- · Reviw(国際交通安全学会誌)2001. Vol.26 No.3, No.4, Vol.27 No.1
- ·科学警察研究所報告(科学警察研究所)2001.41巻, 2号
- ・人事試験研究(日本人事試験研究センター) 2001. No.180, No.181

- ・テレビ・ラジオ番組個人視聴率調査 (NHK放送文 化研究所) 平成13年6月, 11月
- ·慶應義塾大学大学院 社会学研究科紀要 第52号 2001
- · 応用社会学研究(東京国際大学大学院社会学研究科) 2002年 第12号
- ・テレコム社会科学学生賞(電気通信普及財団)平成 12年 No.9,平成13年 No.10
- ·母子保健情報(恩賜財団母子受育会)44号 2002年
- · 関係学研究 2000年記念記念特集号 第28巻 第1号
- ·帝京大学文学部紀要 心理学 第6号 2001年3月
- · 筑波大学心理学研究 2002年 第24号
- ·電気通信普及財団研究調査報告書(電気通信普及財 団)2001 No.16
- ·基礎心理学研究(日本基礎心理学会)第20巻 第1 号
- ·名古屋大学大学院 教育学科 2001年度 第48巻
- · 名古屋大学大学院 心理発達科学 2001年度 第48巻
- · 人間関係学研究(日本人間関係学会)2001年度 第 8巻 第1号
- ・児童教育研究(安田女子大学児童教育学会) 2002 年 第11号
- · 心理学専攻紀要(明治学院大学大学院文学研究科) 2001年 第6号
- · 志学館大学文学部研究紀要 第23巻 第1号, 第2号
- スポーツ心理学研究(日本スポーツ心理学会) 第28巻 第1号, 第2号
- ·第3回日本感性工学会大会予稿集 2001年(日本感性工学会)
- ・産業安全研究所安全ガイド 2001 (産業安全研究所)
- · 東北教育心理学研究 2001 第8巻 (東北大学教育 学部教育心理学研究室)
- · 産業安全研究所年報 平成12年度(産業安全研究所)
- ・カルチュラルエコロジー研究委員会 情報革命の光と影
- ・ 習志野市 M 地区におけるメディア利用の実体調査報告